

# 第3回奈良便教会

2014年12月6日(土)

12月6日(土)に第3回奈良便教会を御所市立御所小学校に開催させていただきました。寒さも急に増す中、素晴らしい時間となりました。学期末の忙しい時期に8名で行いました。寒い中、忙しい中、足を運んでくださる方がいるので行くことができたことに感謝します。

## 【一歩を踏み出すこと】

今回初めて便教会に参加された方が3名いました。前日に声をかけると、「行きます。」と0.1秒で返事されたそうです。2名の先生も声をかけると悩むことなく、「行きます。」と返事してくださいました。今回3名の方が第一歩を踏み出され、感動しました。



トイレ掃除の実践に入りました。羽根さんののていねいな説明のもと、みなさんの夢中に便器に向き合っておられる姿がありました。私自身も最近では一番初めから最後まで便器に向き合ったように感じます。こびり付いた尿石に一心不乱に取り組まれる姿。ここでの一歩の踏み出される早さにも驚きました。わからなかったら質問し、すぐ実践されていました。

「はがした尿石が便器の底にたまっただけはどうしたらいいですか？」

と聞かれました。羽根さんが、「素手で取ったらいいんですよ。」とさらっと言われます。「本当ですか!？」とびっくりされた後にすぐ手が動いていました。何の迷いもなく、考えることもなく行動されていました。以前に「人は、なにか物事をするときに頭で考えすぎると、できない理由を見つけて行動しなくなってしまいます。」と聞きました。今回参加された方々は、寒いとか忙しいとか、初めてで不安だとか、いろいろ頭で考えればできないと思ってしまうところを、まず返事一つで行動されました。便器と向き合っているときも同じでした。「一歩を踏み出す」それも頭で考えすぎず、「まずやってみる」ことで気づかれたことがあるのかなあと感じます。それが大切だと改めて感じました。



## 【見えないところに心を寄せること】

今回もリーダー羽根さんに完全にお任せし、私自身も便器に向き合いました。上から見て目に見える汚れ、姿勢を低くしないと見えない汚れ、両方に目を向けたいなと強い思いがありました。私自身の最近の生活にモヤモヤしたところがあったからです。そう思っていたところ、始めるときに羽根さんが「姿勢を低くするだけで変わります。便器の汚れも床の汚れも姿勢を低くして見てみてください。きっと気づきが違います。」とおっしゃいました。心を見透かされていたような感覚でした。

便器を磨いているときに羽根さんが「サンドメッシュの磨いている時の音にも注目してください。汚れている所と汚れていない所とは違いますよ。」みなさんが体感したひとつです。そのときまで意識したことのないことでした。便器は尿石が固まっており、時間があつという間に過ぎました。便器を上から覗いて見える汚れ、上

からではわからない奥の汚れもありました。上からでは見えない汚れに必死で向き合いました。自然とみなさんも同じ姿勢だったように感じます。見えない所に無心で向き合っている時間がなぜかとても幸せでした。一所懸命ひたむきに便器に向かっていました。普段子どもたちと接する中で、目に見える部分ばかりに意識がいていないか、目に見えない心の部分に意識を向けられているか。今回改めて考えることができました。

活動後の交流会では、それぞれが感想を述べました。心がすっきり今とても幸せです。子どもたちといっしょにできれば、もっと幸せだなと思います。良い時間を過ごせた感想でした。参加されたみなさんが心から参加してよかったという顔をされ帰られました。本当に幸せな時間を共有させていただいたなと思います。支えてくださる方がおられるから実践できています。今回は大変忙しい時期だったと思います。そんなときに開催することができ、よりよかったですと感じます。これからもゆっくりと一步一步前進していきなと思います。ありがとうございました。

(小峠大地)

